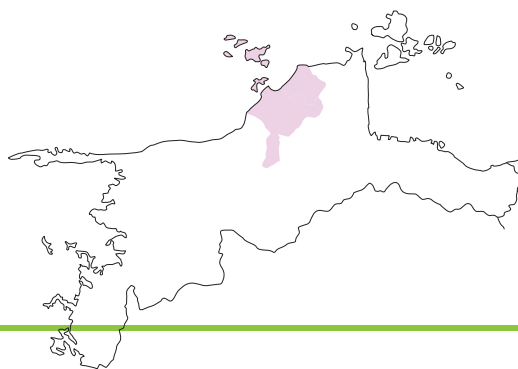


株式会社 JAISTATION



松山市

野菜栽培の新技术を活用した農業者 参加型ビジネスモデルの開発

1 事業内容

「高機能膜栽培」による栽培システムを機軸とした農業者参加型のビジネスモデルを開発するとともに、同システムで栽培した野菜のブランド化を目指す。

2 事業背景

「高機能膜栽培」は糖度や栄養価の高い野菜の栽培が可能、かつ従来の土耕栽培に比べ比較的熟練を必要としない。こうした特徴を基に、やる気のある農業経験に乏しい新規就農者や低所得に悩む地域農業者へ栽培システムを販売し、ビジネスモデルに参加してもらうことで、新規就農者の増加、参加農業者の所得安定に貢献し、地域農業の活性化に繋げて行く。

3 事業、技術、商品の特徴

「高機能膜栽培」最大の特徴は、高分子膜（ハイメックフィルム）を使って野菜を栽培することである。一番下から養液、高分子膜、土の3層構造で、高分子膜により水分や



西岡社長

栄養素の供給量が制御できるため、質の高い農作物を栽培することができる。この栽培システムを機軸に、同栽培システムの販売・栽培指導、同システムで栽培された野菜の全量買取、統合ブランドによる県内外小売店や県内飲食店への野菜販売、野菜の高付加価値化を狙った加工品の開発・販売を展開する。

4 助成内容及び効果

このシステムで栽培された野菜は「四国育ち」のブランド名で展開することとし、商標登録を行った。また、現在、レタス、ルッコラ、グリーンマスタードなどベビーリーフを主体に栽培しており、単種類のリーフと数種類のリーフを組み合わせたミックスの2タイプで販売。その品質は高く評価され、松山市内の有名レストランに多くの取引先を持つようになった。同システムを紹介する会社案内パンフレットやホームページを充実させたことにより、その他スーパー、青果物卸業者など販路も拡大しており、知名度は高まりつつある。



また、これらの野菜を食する際の引き立て役として、砥部町の七折梅を使用したシーザー梅ドレッシング「梅風味シーザー」と大三島町のレモンを使用した和風ポンドレッシング「香味醤油レモン」などのオリジナルドレッシングの開発にも取り組んだ。

こうした栽培・販売実績を下地に、栽培システム販売も引き合いがきており、今後の普及拡大に努めていく。

5 今後の展望

栽培システムの拡販にあわせて自社の大規模農園開設を計画している。現行の栽培施設における品質の高さが認知されつつあるので、今後は大規模栽培に取り組むことによって収穫量アップのみならず、品質・収益両面で魅力のある栽培システムであることをアピールすることを視野に入れ、現在大規模農園用の農地取得についても検討しているところである。

Message From Entrepreneur

地域を活性化させるためには、先端技術も必要ですが、既存の資源や技術を繋ぎ合わせて新しい何かを創造することが必要です。愛媛ならではのどこにも無い事業を創造して、地域と地域を結びつける仕事をしたいです。

企業概要

〔代表者〕 代表取締役 西岡 久継
 〔住 所〕 松山市河野中須賀171
 〔設 立〕 平成16年6月
 〔TEL〕 089-906-4359
 〔FAX〕 089-906-4422
 〔URL〕 <http://www.jaistation.com/>